



《鏡花》 1989年

中山忠彦 追悼展

—— 永遠なる出会い・美への懸け橋 ——

Tadahiko Nakayama Memorial exhibition

2025年

9月13日(土)－10月19日(日)

開館時間／ 9:30－16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日／月曜日 (祝日の場合は翌平日)

■料金 一 般：300円 | 65歳以上：240円 | 団体(25名以上)：240円 |
高大生：150円 | 中学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方とその付添の方(1名)は無料 ※会期中、東山魁夷記念館との相互割引を実施

■主催 市川市／公益財団法人 市川市文化振興財団

市川市芳澤ガーデンギャラリー

千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687



《散う》1980年



《二人》1963年



《楽想》1973年



昨年9月に逝去された、名誉市民で洋画家の中山忠彦氏の追悼展を開催いたします。

中山氏は1935年福岡県小倉市（現在の北九州市）生まれ。少年期より「絵描き」を志し18歳で上京。伊藤清永の内弟子として研鑽を積み、独立後は日展や白日会を中心に活躍します。

1965年に運命の女性・良江夫人と結婚し、翌年から市川市に在住。夫人をモデルに着衣の女性像を描き続け、「見えるものを通して見えないものを描く」ことを理念とした内なる美の表現を追求されました。

また、日展理事長や白日会会長、（公財）市川市文化振興財団理事長などを歴任する一方、後進の育成にも取り組み、その功績は多岐にわたります。

本展では、中山氏の生涯における「出会い」に焦点を当て、初期から晩年まで70年に及ぶ画業をご紹介します。数々の出会いの中で円熟した、永遠なる美の世界をご覧ください。



《古風な帽子》2003年



《縞衣》1981年



《アルプ楽想》2023年

中山忠彦 追悼展

— 永遠なる出会い・美への懸け橋 —

Tadahiko Nakayama Memorial exhibition

ギャラリートーク

斎藤秀夫氏（白日会会長代行）と寺久保文宣氏（同常任委員）をお招きし、中山氏との思い出や作品についてお話しいただきます。

日時：9月21日（日）14:00-15:00
事前申込不要、入館料のみ必要（先着50名）

市川市芳澤ガーデンギャラリー

千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687

<https://www.tekona.net/yoshizawa/>

お問合せ／市川市 文化国際部 文化芸術課 市川市八幡1-1-1 TEL 047-712-8557



- JR市川駅から徒歩約16分、京成市川真間駅から徒歩約12分
- お車でのご来館はご遠慮ください